

電動昇降デスク C1EA・C1EB シリーズ

(120×60・120×65・120×70・120×75・120×79デスク)

小島工業
since 1886

取扱説明書・組立説明書

この度は、当社の製品をお買い上げ頂き誠に有難うございます。
組み立て頂く前に必ず部品が揃っているかを確認してください。
事故防止などの安全のためにこの「取扱説明書・組立説明書」と別添の「使用上のご注意」をよくお読みください。
製品を末永くご愛用頂き、この「取扱説明書・組立説明書」は大切に保管してください。



主な仕様

天板	表面材：プリント紙化粧板 芯材：パーティクルボード	定格電圧	AC100V
支柱・フレーム	スチール(粉体塗装)	定格消費電力	最大消費電力330W
脚ベース	スチール(粉体塗装)	定格周波数	50/60Hz
アジャスター	スチール、PE	耐荷重(等分布) ※全サイズ	天板 40kg
トレイ、コード溜り	プリント紙化粧板		トレイ 4kg

家庭用品品質表示法に基づく表示

外形寸法	C1E A	甲板の表面材	プリント紙化粧板
	120×60 幅1200×奥行600～850×高さ610～1260mm 120×65 幅1200×奥行650～900×高さ610～1260mm 120×70 幅1200×奥行700～950×高さ610～1260mm 120×75 幅1200×奥行750～1000×高さ610～1260mm 120×79 幅1200×奥行790～1040×高さ610～1260mm	表面加工	脚・フレーム部：粉体塗装
C1E B	120×60 幅1200×奥行600×高さ610～1260mm 120×65 幅1200×奥行650×高さ610～1260mm 120×70 幅1200×奥行700×高さ610～1260mm 120×75 幅1200×奥行750×高さ610～1260mm 120×79 幅1200×奥行790×高さ610～1260mm	取扱い上の注意	直射日光又は、熱を避けてください。 加熱したなべ、湯沸し等を直接置かないでください。
		表示者	小島工業株式会社 03-3674-2251

安全上のご注意

ここに書かれた注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。いずれも安全にお使いいただくための重要な内容ですので、必ずお守りください。

警告 (取り扱いを誤ると、死亡または重傷を負う可能性があります。)

- 昇降操作の際は、可動範囲の障害物を取り除いてから操作を行ってください。特に周囲に人がいる場合は巻き込まれないよう十分に注意してください。
- 昇降操作中は、支柱などの可動部には絶対に触れないでください。
- 天板を下げる際、天板の下にもぐったり、頭や足、手を入れたりしないでください。
- 昇降操作中にイスやワゴンなどの障害物にあたったときは、ただちに操作を中止し天板を戻してください。
- 天板に乗ったり、腰掛けたり、ぶら下がったり、飛び降りたりしないでください。
- 天板昇降の連続操作は、1分以内としてください。また、1分間連続操作をしたときはその後20分以上は操作しないでください。故障の原因となります。
- お客様自身で修理・改造はしないでください。
- 強い衝撃や振動など、無理な力を与えないでください。
- ネジがゆるんだまま使用しないでください。ぐらつき、転倒の危険があります。安全にお使いいただく為、ネジはときどき点検を行い締め直してください。
- 床が傾斜していたり段差がある場所では使用しないでください。
- 設置するときは必ず本体を水平に保つように、アジャスターで調整してください。その際、手や足などを挟まないようご注意ください。
- 電源コードは、天板を最大高さに上げた状態で安全に使える長さにしてお使いください。
- トレーを引き出したまま寄りかかったりしないでください。

○感電や火災の原因になる恐れがあるので、以下のことを必ずお守りください。

- 動力に電気を使用しています。万一、煙が出たり変なにおいや異音がするなどの異常が発生した場合は、ただちに使用を中止し電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店までご連絡ください。
- ACアダプターは本製品専用です。他製品で使用しないでください。
- 付属のコンセントに接続する機器は、コンセントに表示の最大消費電力以内で使用してください。
- 電源プラグはしっかり差し込みゴミや異物が入らないようにしてください。また、定期的に点検しホコリなどを取り除いてください。
- 長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 高温・多湿となる場所で使用しないでください。
- 屋外や水のかかる場所で使用しないでください。
- ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。
- コードは束ねて使用しないでください。
- コードを無理に曲げたり、引っ張ったりしないでください。
- コードを傷つけないでください。また、傷ついた状態で使用しないでください。
- お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

注意 (取り扱いを誤ると、軽傷を負うかまたは、物的損害が発生する可能性があります。)

- 組立の際は必ず大人2人以上で行ってください。
- 電源プラグは、延長コードなどの使用はさけ、直接壁面のコンセントへ差し込んでください。
- 重量物を偏って載せないでください。転倒や破損の恐れがあります。
- 本製品を移動するときは、大人2人以上で持ち上げて運んでください。引きずると、床面を傷めたり製品が破損するおそれがあります。
- 設置する際は、壁や隣りあうものとの間に30mm以上の間隔が確保されていることを確認してください。
- 暖房器具やエアコンなどの熱や風が当たる場所で使用しないでください。
- 床面が、畳や木質のフローリングや塩化ビニール樹脂等の傷つきやすい床面では、床面にアジャスターの跡がつく場合がありますのでご注意ください。必ず床にカーペット等の保護材を敷くなどして床材を保護してください。床面に関する保護はお客様の管理責任となります。傷の付きやすい床面では、本製品を使用しないでください。

お願い (製品を末永くご使用いただくためにお守りください。)

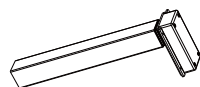
- この製品は屋内でお使いください。屋外や水のかかるところでは、故障や反り、カビの発生や感電、漏電の原因となります。
- 直射日光のあたるところ、温度の高い所、湿気の多い所では使用しないでください。(故障、反り、変色、カビの原因)
- 窓際などでは、カーテンやブラインド等で日射しを遮るようにしてください。
- 製品にシールやセロハンテープ等を貼り付けないでください。(表面材がはがれる原因)
- 水にぬれたまま放置しないでください。サビや故障の原因になります。
- 製品に高温のモノをあてたり置かないでください。熱により表面が変形するおそれがあります。(コゲつき、変色の原因)

<お手入れ>

- 日常のお手入れは、やわらかい乾いた布で、軽く拭いてください。
- 汚れを拭き取るときにシンナーやベンジン、磨き粉などは使用しないでください。
- ※水にぬれたまま放置したり、化学雑巾を使うと変色することがあります。ご注意ください。
- 汚れた場合は、中性洗剤をぬるま湯で2～3%程度に薄め、やわらかい布を浸し、よく絞ってから拭き取ってください。その後、水につけた布をよく絞って、洗剤液を拭き取ってください。最後にやわらかい乾いた布で水分が残らないように拭き取ってください。

組立説明書

組立前に下記部品が揃っているかご確認下さい。



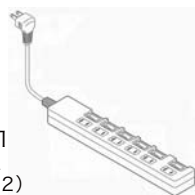
A.支柱×2



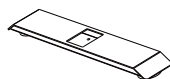
D.ボルト短 (M6×15)×8



G.配線フック×4



J.節電タップ×1
(取付用ネジ×2、
樹脂ワッシャー×2)



B.脚ベース×2



E.六角レンチ×1



H.ボルト長 (M6×35)×2
(カバーキャップ付き)



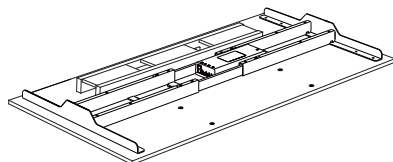
C.ボルト中 (M6×20)×8



F.ネジ (4.2×12)×4



I.節電タップパネル×1



K.天板×1

組立方法

警告

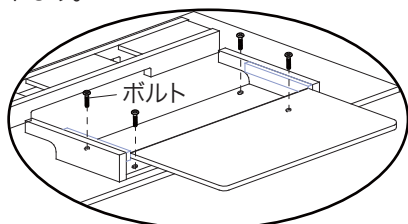
安全のため、組み立て作業は大人2人以上で行ってください。

※組立作業を行う前に、床をキズつけないように必ず毛布などの敷物をして、床材の保護をしてください

※組立図はトレイやケーブルなど一部省略しています。

1 下図のように、A.支柱の穴と天板フレームの取付穴を合わせて置き、D.ボルト短を差し込み E.六角レンチで締め付けてください。一度にきつく締め付けると偏り、締め付けできなくなることがあるため、4ヶ所すべて仮締めをした後に本締めを行なってください。

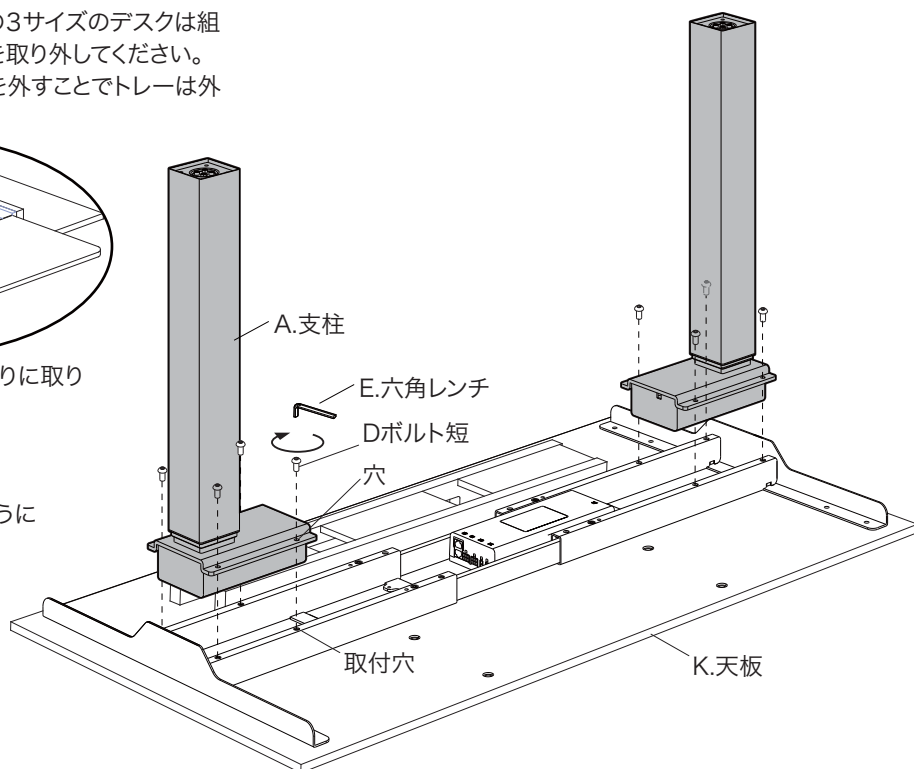
※C1EA-100×60・65・70の3サイズのデスクは組み立てを始める前に、トレイを取り外してください。ドライバーで4ヶ所のボルトを外すことでトレイは外れます。



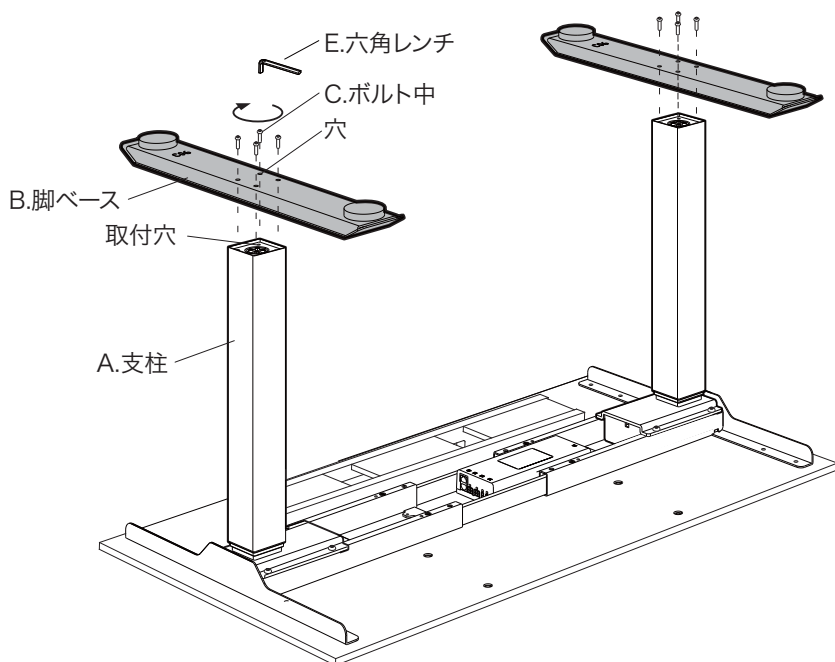
配線まで完了したら元通りに取り付けてください。

※コード等、挟み込まないように注意してください。

※図の天板は120幅です。



- 2** 下図のようにB.脚ベースの穴4ヶ所をA.支柱にある取付穴に合わせて置き、C.ボルト中を差し込みE.六角レンチで締め付けてください。一度にきつく締め付けると偏り、締め付けできなくなることがあるため、4ヶ所すべて仮締めをした後、本締めを行なってください。

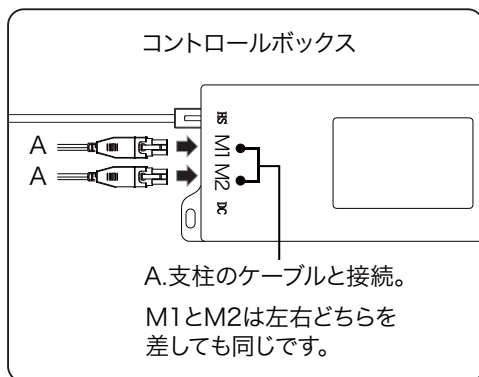
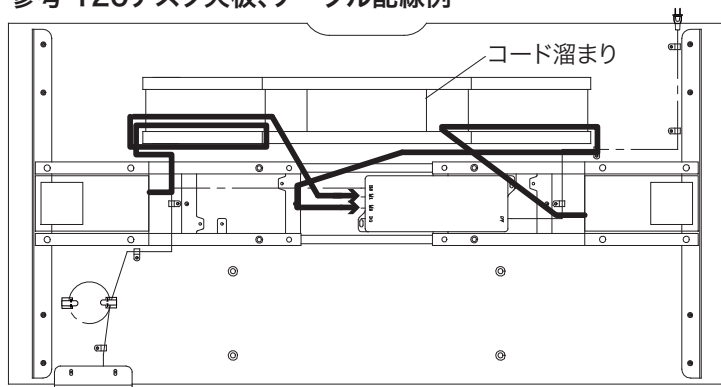


- 3** A.支柱のケーブルを、コントロールボックスの「M1」「M2」の差し込み口へ差し込みます。このとき、デスクを起こした際にケーブルが垂れ下がらないように、コード溜まりを通したり巻きつけて長さを調整するか、またはG.配線フックとF.ネジを併用して対策をしてください。

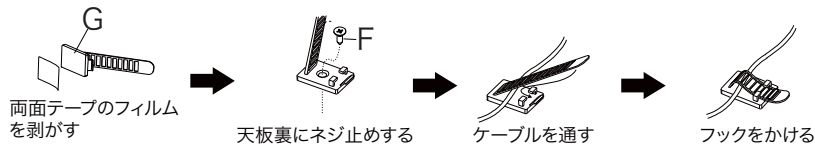
(※G. 配線フック固定用の下穴はあいておりません。)

配線が完了したら、C1EA-100×60・65・70の3サイズのデスクは、始めに外したトレイを元に戻してください。

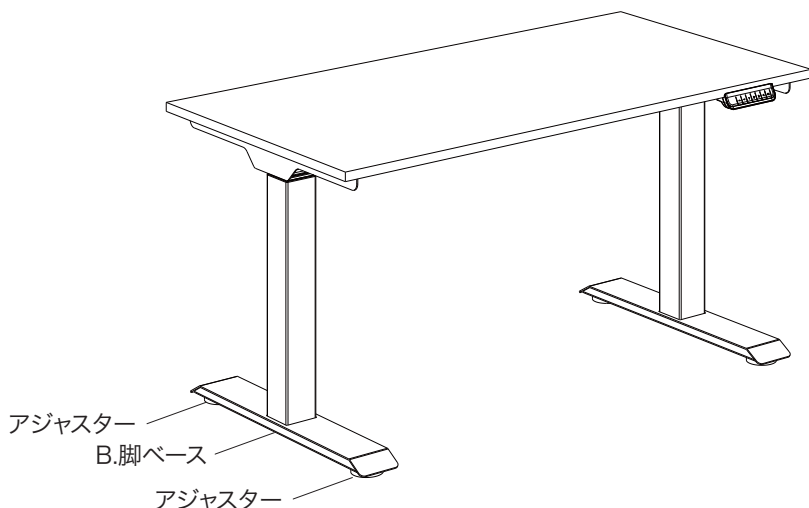
参考 120デスク天板、ケーブル配線例



G.配線フックの 使い方



- 4 ケーブルをつなぎ終えたら、デスクを2人以上で起こしてください。
周囲に壁や障害となるものがある場合は、3cm以上離して設置してください。
ガタツキがあるときは、B.脚ベース裏のアジャスターで調整してください。
調整範囲は5mmまで。



アジャスター

- 5 電源プラグをコンセントに差し込んでください。
※付属の節電タップには差し込まないでください。直接壁面等のコンセントをご利用ください。
コントローラーのディスプレイに表示がされるか確認してください。

6 初期設定(リセット操作)

電源プラグをコンセントから抜き差しした後や停電の後は、
使用を始める前に必ずこの初期設定を行ってください。



■リセット操作方法

<リセット操作>

「V」の下降ボタンを長押しすると、天板が一番下まで下がり一度停止しますがそのまま押し続けてください。5秒程するとディスプレイに「r 5」と表示され少し下降した後、リバウンドし少々上昇をします。ディスプレイに「5 10」の数字が表示されたらボタンを離し、リセット(初期設定)完了です。

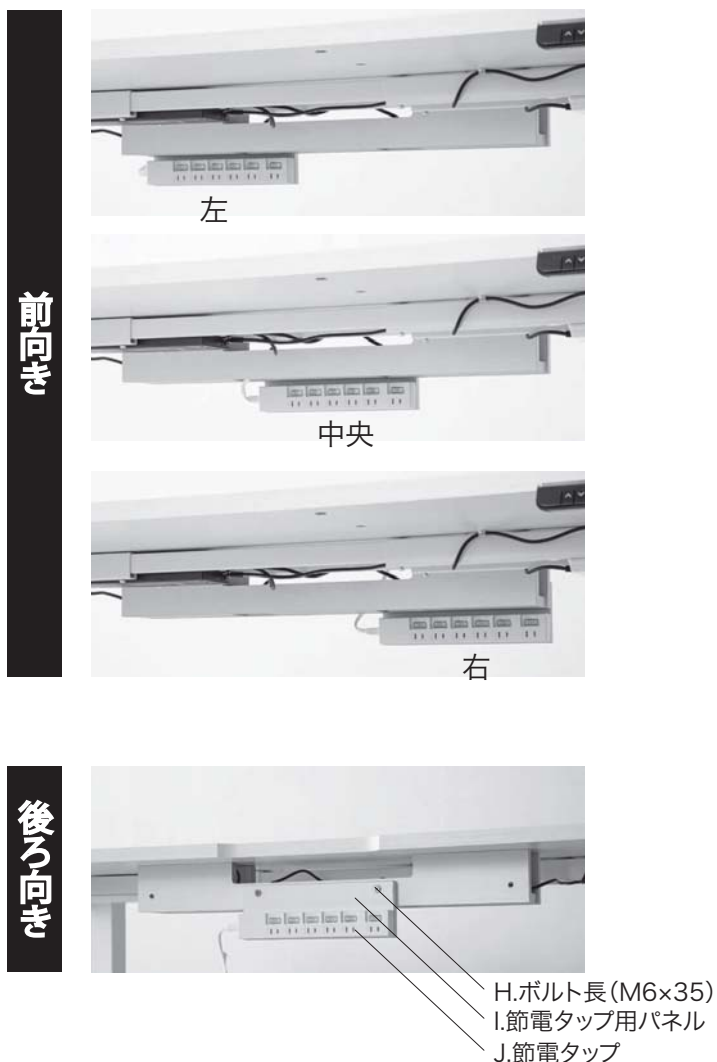
■節電タップ用パネルの取り付け

○I.節電タップ用パネルの固定位置

デスク後方の天板下にある、コード溜りの背面にI.節電タップ用パネルが取り付けできます。

H.ボルト長2本で左・中央・右に取り付けが可能。前後の向きも変えられます。

パネルへの取り付け方は、J.節電タップに付属の「コンセントボックスの掛け方」をご覧ください。



コンセントボックスは合計1,500W(ワット)以下でお使いください。

コントローラーの操作方法

警告

天板昇降の連続操作は、1分以内としてください。
また、1分間連続操作をしたときはその後20分以上は操作しないでください。
故障の原因となります。



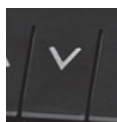
■天板昇降

自分に合った高さ、作業に合わせた高さに、61cm～126cmの範囲で昇降できます。



上昇ボタン

押している間上昇します。
最高高さ126cmまで上昇します。
(ディスプレイは「126」と表示)



下降ボタン

押している間下降します。
最低高さ61cmまで下降します。

■高さ登録

3つまで高さの登録ができるメモリー機能。

登録したい高さのときに



を押し、

続けて登録したい番号



いずれかひとつを押すと登録され、押した番号に応じてディスプレイに「5-1」「5-2」「5-3」「5-4」と表示されます。

呼び出すときは番号ボタンを押すだけです。

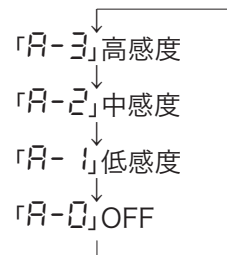
■衝撃感知 感度調整

天板昇降時、障害物等に接触した場合に衝撃を感知し動作を止める機能が備わっています。

感度調整は、高感度「A-3」、中感度「A-2」、低感度「A-1」、OFF「A-0」の4つの感度へ順番に切り替えられます。



上昇と下降のボタン2つを5秒間同時に長押しすると、1段階ずつ感度が切り替わります。



衝撃感知・はさみ込み防止機能について

デスクの天板ユニットには昇降動作中、障害物に接触した際に、はさみ込みを防止するための機能があり自動的に約3cm戻ります。はさみ込み防止機能が作動した場合は、天板ユニット自体や天板上のラックや設置物などが、周囲の物に接触していないか確認してください。

警告

◎はさみ込み防止機能は、障害物や製品の破損を未然に防ぎ、安全にお使いいただくための機能ですが、全ての条件下での作動を保証するものではありません。昇降操作を行う際には、その前提として、周囲に接触するものやはさみ込む可能性のあるもの、お身体などが無いことを確認してから操作を行ってください。

※仮に障害物に接触してしまった場合でも、柔らかいもの（布地やカバンなど）や、対象物の端だけなど一部しか接触していない場合にははさみこみ防止機能が作動しません。その場合は直ちに操作を中止してください。

重要

◎昇降操作を行う際は、天板ユニットの上部、壁面、椅子の背や肘置きなど、天板下のワゴンや設置物など、周囲に接触するものがないか確認し、ある場合には必ず取り除いてから操作を行ってください。

◎もしも挟まってしまった場合は、デスクを持ち上げて挟まっているものを取り除いてください。デスクが動かせない場合はコントローラーを小刻みに操作して天板ユニットを戻してください。

◎高温多湿（温度28度、相対湿度50%超が目安）などの環境下では換気を行ってください。誤作動が発生した場合はトラブルシューティングを参照してください。

トラブルシューティング

コントローラーのLEDディスプレイにエラーコードが表示されることがあります。その場合、下表をご確認ください。



エラーコード	内容	解決方法
E01	操作時間が長すぎる。	製品を30分間休ませてからご使用ください。
E02	モーターが高温になっている。	製品を30分間休ませてからご使用ください。
E03/E04/_OL	モーターに過電流が流れた。	テーブルに載っている全ての荷重を無くしてください。その後<リセット操作>をしてください。
E05/E06	昇降の不具合。	脚部の支柱が昇降するか確認してください。昇降することを確認したら<リセット操作>をしてください。
E07/E08/E20 E21/E22/E23	モーター内のセンサーの故障。	モーターとコントロールボックスがしっかり接続されているか確認してください。その後<リセット操作>をしてください。
E09	天板に偏った荷重が掛かっている。	モーターとコントロールボックスがしっかり接続されているか確認してください。その後<リセット操作>をしてください。
E30	衝突感知機能センサーの故障。	損傷した部品は交換が必要です。お買い上げの販売店にご連絡ください。

※解決方法が有効でない場合、お買い上げの販売店にご連絡ください。

■リセット操作方法

<リセット操作>

「V」の下降ボタンを長押しすると、天板が一番下まで下がり一度停止しますがそのまま押し続けてください。5秒程するとディスプレイに「r5t」と表示され少し下降した後、リバウンドし少々上昇をします。ディスプレイに「r5」の数字が表示されたらボタンを離し、リセット（初期設定）完了です。

<正常に完了しないとき>

「V」を押しても動作ができず、ディスプレイに「E01」または「E02」とエラーコードが表示される場合、30分後に再度リセット操作を試してください。

他のエラーコードが表示されるような場合は、電源プラグを抜き10秒以上経ってから再度電源を入れ再度リセット操作を試してください。

⚠ 警告 お客様ご自身での修理・改造はしないでください。

故障かな?と思ったら修理を依頼される前に次のことをご確認ください。

状態	ご確認ください	解決方法
高さ調節機能が作動しない。	①電源コードが正しい電圧のコンセントに接続されているか確認してください。 ②コントロールボックスのランプが点灯しているか確認してください。 ③全てのプラグがコントロールボックスに正しく装着されていることを確認してください。 ④ケーブル、コントロールボックス、支柱に目に見える損傷があるか確認してください。	①正しい電圧(100V)に接続してください。 ②ランプがついていない場合は、ケーブルやコントロールボックスが損傷していないか、または正しく接続されているか確認してください。 ③全ての接続が正しいことを確認してください。(組立説明書を参照してください) ④損傷した部品は交換が必要です。販売店にご連絡ください。
フレームが不規則の動作をする。又は傾斜している。	①障害物に接触していないか確認してください。 ②ケーブル、コントロールボックス、支柱に目に見える損傷があるか確認してください。	①障害物を取り除き、<リセット操作>を行ってください。 ②損傷した部品は交換が必要です。販売店にご連絡ください。
フレームが降下しにくい。	①すでに最大高さに達していないか確認してください。 ②フレームが過負荷状態になっていないか確認してください。	①天板を下げてからもう一度実行してください。 ②負荷を軽くして、<リセット操作>を行ってください。
フレームが常に最大高さに達する前に、同じ位置で停止する。	①降下ボタンを押して動作するか確認してください。	①<リセット操作>を行ってから上昇または降下ボタンを押して動作させてください。
フレームが下がるときに全ての支柱が正常に動作しない。	①障害物に接触していないか確認してください。 ②支柱のケーブルに目に見える損傷があるか確認してください。	①全ての接続を確認し、<リセット操作>を行ってください。リセット後、支柱脚が上昇しない場合は故障している可能性があるため、販売店にご連絡ください。 ②損傷した部品は交換が必要です。販売店にご連絡ください。
フレームは過負荷でもないのに、降下しか実行されない。	①天板やフレームが何かに接触していないか確認してください。 ②すでに最大の高さに達していないか確認してください。	①障害物を取り除き、<リセット操作>を行ってください。 ②天板を下げてからもう一度実行してください。

※解決方法が有効でない場合、お買い上げの販売店にご連絡ください。